

事業番号	15 06 03	事業改善シート(令和3年度実施事業分)			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
		実施期間	H30 ~	E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進		1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり		

1 事業の概要

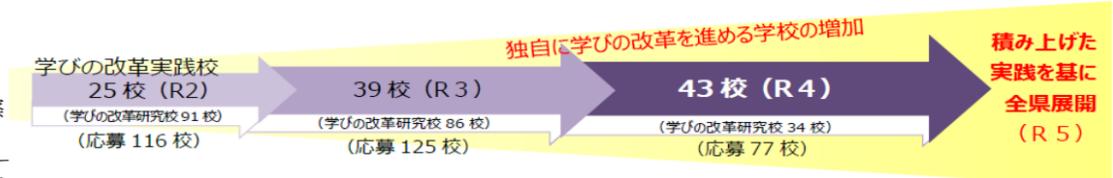
事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】
	【目指す姿】
	【実施内容】

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]										区分(単位:千円)			
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況	R1年度	R2年度	R3年度	
1	県内の小6児童・中3生徒のうち、全国上位4分の1に含まれる児童・生徒の割合	%	小6児童:23.3% 中3生徒:25.0%	コロナの影響で実施せず	—	小6児童:23.9% 中3生徒:24.4%	↗	小6児童:26.4% 中3生徒:26.4%	未達成				
2	県内の小6児童・中3生徒のうち、全国下位4分の1に含まれる児童・生徒の割合	%	小6児童:25.8% 中3生徒:25.7%	コロナの影響で実施せず	—	小6児童:25.9% 中3生徒:24.7%	↘	小6児童:22.6% 中3生徒:22.6%	未達成				
3	英語コミュニケーション能力・CEFR A1相当(中学生)・CEFR A2相当(高校生)	%	中学生:43.6% 高校生:40.9%	コロナの影響で実施せず	—	中学生:42.5% 高校生:43.8%	↘	中学生:42.2% 高校生:43.1%	達成				
4	「自分にはよいところがある」と思う児童・生徒の割合	%	小学生:82.0% 中学生:74.1%	コロナの影響で実施せず	—	小学生:78.3% 中学生:75.3%	↘	小学生:76.8% 中学生:76.8%	達成				
5	組織的・継続的な研修を行っている小・中学校の割合	%	小学校:59.2% 中学校:62.4%	コロナの影響で実施せず	—	小学校:59.9% 中学校:62.7%	↗	小学校:62.7% 中学校:58.0%	未達成				
										前年度繰越額			
										当初予算額	113,653	121,569	110,417
										補正予算額	-1,077	-1,209	0
										合計(A)	112,576	120,360	110,417
										うち一般財源	102,236	108,293	95,692
										決算額(B)	96,430	40,280	42,016
										職員数(人)	7.0	7.0	8.0

成果指標及び目標値の設定理由	<p>1.第3次長野県教育振興基本計画において成果指標として設定されており、全国学力・学習状況調査における全国の上位25%、下位25%の児童生徒の割合と本県の児童生徒の割合を比較できるため。</p> <p>2.同上</p> <p>3.「長野県英語教育改善プラン」において「CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)」を成果指標の一つとしており、本県生徒の英語力の経年比較が可能であるため。</p> <p>4.第3次長野県教育振興基本計画において成果指標として設定されており、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査における「自分にはよいところがある」と回答した全国の児童生徒の割合と本県の児童生徒との割合を比較できるため。</p> <p>5.全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査における全国の割合と本県の割合とを比較できるため。</p>
----------------	---

達成状況の分析	<p>1.小中学生共にはほぼ横ばいの状況である。計算によって答えを求める学習のみならず、学習指導要領に示された資質・能力を育成できるような授業改善がさらに必要となってくると考えられる。</p> <p>2.中学生ではやや改善が見られた。全国学力・学習状況調査の出題意図や近年の高校入試問題の出題傾向を受け、学校における授業改善やテスト改善の取組が図られてきていることも要因として考えられる。</p> <p>3.中学生のポイントはやや下がったが目標値は達成した。Small Talk(英語を使ったやりとりの例示を基に行う比較的短い会話)を中心とした言語活動が多くの学校で授業に位置付けられたことも要因として考えられる。</p> <p>4.小学生のポイントが下がったが、肯定的回答の合計値は78.3%で全国を上回っている。小中学校共に特別の教科道徳の授業改善が図られていることが要因として考えられる。</p> <p>5.ほぼ横ばいの状況であるが、コロナ禍においても、オンラインを活用した学習について指導主事を要請しての研修を行ったり、オンライン等によって外部の研修に参加したりするなど、組織的・継続的な研修が行われている。</p>
---------	--

主な取組	<p>・授業づくりの共通基盤をつくり、授業改善を進め、児童生徒にめざす資質・能力を育むため、「子供たちが主体的に学び、仲間と共に解を導き出す学びへの転換」を目指す学びの改革として位置づけ、学校からの要請に基づく指導主事による訪問支援を実施。また、長野県総合教育センターでの研修講座、長野県ICT教育推進センターを中心としたクラウド研修出前講座、各教育事務所による研究主任研修会などの研修を実施。</p> <p>・特色のある学校づくり授業づくりに取り組み、学びの改革を進める学校の拡大を図るため、「学びの改革実践校」を募集。実践校への応援メニューとして、加配教員の配置、外部講師の招聘や視察等への補助、一流講師によるミニフォーラムの開催などを用意し、校長のリーダーシップと学校の独自性による取組を支援。</p> <p>・道徳教育の充実を図るため、道徳パワーアップ研修などの教員研修や県民を対象とする教育フォーラムを実施。</p> <p>・全ての幼児教育施設が遊びを通じた学びを実践することにより、主体的に学ぶ基盤を形成するため、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でのフィールド研修を実施。</p> <p>・信州の豊かな自然を教育資源とした、自然・野外教育プログラムの普及や指導体制の整備、ものづくりやプログラミングなどに取り組む信州Makes教室など子供たちの興味関心に応じた教育プログラムの実施。</p>
------	---



2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<p>・育成が求められる資質・能力を育むために、学びの改革のさらなる推進が必要。特に「指導の個別化」の実践例や、「学びの個性化」の具体例を共有した上での個別最適な学びの充実が必要。</p> <p>・教員の資質向上を図るため、指導と評価の一体化、ICTを有効に活用した授業実践など、各校において、より主体的かつ時代の変化や学習指導要領の改訂にそった実践的な研修が行われることが必要。</p>	<p>・学びの改革を進めようとする校長や市町村教育委員会を支援。教師の授業観を更新し、ICTを有効に活用した学びの改革を推進する。</p> <p>・指導主事による訪問支援や既存の研修の内容を、教員のニーズや学習指導要領の改訂を踏まえて見直し、一層の充実を図る。</p>

事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	-----------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	学びの改革実践校応援事業	0 千円	754 千円	681 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	学びの改革実践校応援事業	直接	学校のシステム改革や授業改革を目指す学校の拡大を図るため、改革に取り組もうとする小・中学校39校に対し、アドバイザー派遣や情報発信等の支援を実施 【学びの改革実践校(公立小学校・中学校):39校(125校が応募)】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	自然教育・野外教育推進事業費	273 千円	226 千円	489 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	自然教育・野外教育推進事業	直接	子どもたちの「生き抜く力」を育むため、プログラム実践校において県独自の野外体験活動プログラムの研究・開発・普及推進並びに実践できる教員を育成 【プログラム推進校6校】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	中山間地域の新たな学びの創造事業費	1,492 千円	359 千円	961 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	教育クラウドを用いたICT活用・遠隔授業	直接	教育クラウドを用いて少人数のよさを生かした学習における情報活用能力の育成、主体的・対話的で深い学びを実現するICT活用に関する学習内容を研究 【学びの改革ミニフォーラム5回】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	教職員研修事業費	66,722 千円	18,269 千円	19,094 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の指定研修や先進地視察等の各種研修を実施 【指定研修:82講座 5,351人】	
2	フロンティアスピリッツ事業(自己啓発研修)	補助金	小・中・高等・特別支援学校の教職員が業務と関連する知識や技能を幅広く習得する取組を支援するため、旅費の一部を補助 補助金交付先:県内の教員 【自主研修への補助:1名(高校)】	

事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課
-----	-----------------	----	----------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	総合教育センター研修費	22,781 千円	13,948 千円	12,174 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	総合教育センター研修費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、希望研修を始め各種研修を実施【希望研修:231講座 4,014人】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
6	総合教育センター研究費	963 千円	150 千円	1,089 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	総合教育センター研究費	直接	教職員研修に資するため、教育に関する専門的・技術的事項に関する研究調査を実施【関東地区教育研究所連盟研究大会、全国教育研究所連盟大会に参加。教職員養成に関する大学との連携】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
7	幼児教育振興事業費	2,915 千円	4,468 千円	4,346 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	幼児教育支援センター運営事業	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施【幼児教育コーディネーター1名配置】
2	フィールド研修実践園委託事業	委託	質の高い幼児教育を実施するため、先進的な取組を行っている幼稚園、保育所及び認定こども園等でフィールド研修を5件委託 委託先:県内の幼児教育施設 【フィールド研修:5会場 計10回 延べ579人】
3	幼保小接続カリキュラム研究開発委託事業	委託	R2までに作成した幼保小接続カリキュラム(理論編)に基づくモデル地区での「実践編」の研究開発を市町村に委託 委託先:県内市町村 【2市町村(池田町、信濃町)において実践編の研究開発を実施】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
8	道徳教育総合支援事業	0 千円	226 千円	3,183 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	道徳教育総合支援事業	直接	道徳教育の充実を図るため、教員研修や県民を対象とする教育フォーラム「豊かな心を育むフォーラム2021」を実施した。 【教育フォーラム参加者75名】
2	道徳教育研究推進校事業	委託	塩尻市立広陵中学校に実践研究及び授業公開等を委託し、道徳教育における「対話」の可能性について研究した。 【広陵中学校において授業研究会を実施。「道徳アシスト6」を作成、県内の全小中学校へ配布】